

# 令和6年度第1回県立丹波並木道中央公園あり方検討会における委員意見

資料2

No,	大分類	小分類	意見要旨
1	自然環境保全	合意形成ルールについて	伐採に至るまでの過程が非常に煩雑に感じる（谷垣委員）
2		情報発信ルールについて	樹木伐採について詳細な説明ではなくとも簡単に全体方針を説明することはあり得るのではないか（澤木会長）
3		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園の整備方針やポテンシャルを理解できていない中で検討事項について議論するのは難しい。（澤木会長）</li> <li>当協議会で検討した内容を確実に引き継ぐことや丹波篠山市などに共有する必要がある（北川敦雄委員）</li> <li>田漬池を活かせる取り組みがあればよいのではないかと考える。（角谷委員）</li> <li>ビオトープを拡充する等の取り組みがあり得るのではないかと考える。（澤木会長）</li> </ul>
4	活性化	管理運営協議会等について	明石公園のみんなの未来ミーティングのように、自由に意見が出せたり、園内事業の進捗を確認できる仕組みがあってもよいのではないかと考える。（角谷委員）
5		その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園利用者のうちリピーターの割合等のデータは確認できるのか。（澤木会長）</li> <li>公園に係るアンケートを園外の施設と連携して集めるということもあり得るのではないかと考える。（北川美佳委員）</li> <li>自然が多い地域にもかかわらず、これだけの公園利用者がいることは大変素晴らしいことだと考える。（北川敦雄委員）</li> <li>観光客等に対してこの公園がどのような役割を担っていくかは大きなテーマと考える。（北川敦雄委員）</li> <li>マルシェ等の回数を増やしリピーターを増やすことが考えられる。（澤木会長）</li> </ul>